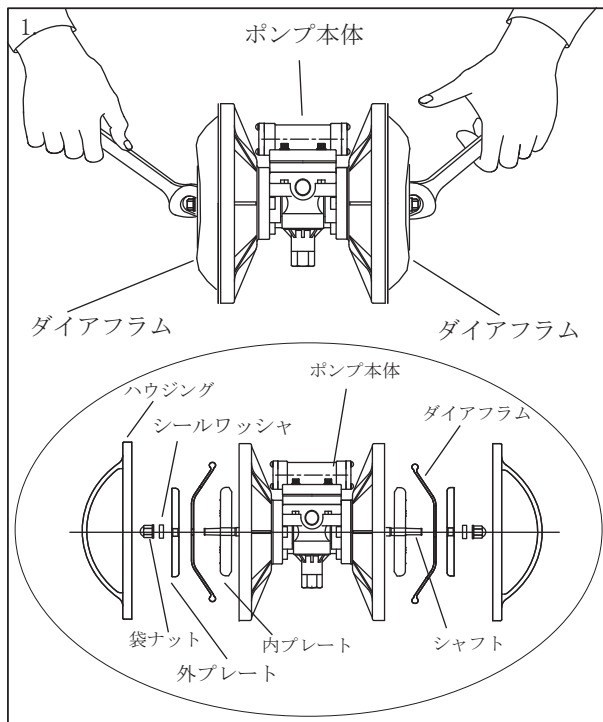


ポンプの分解・部品交換・組立

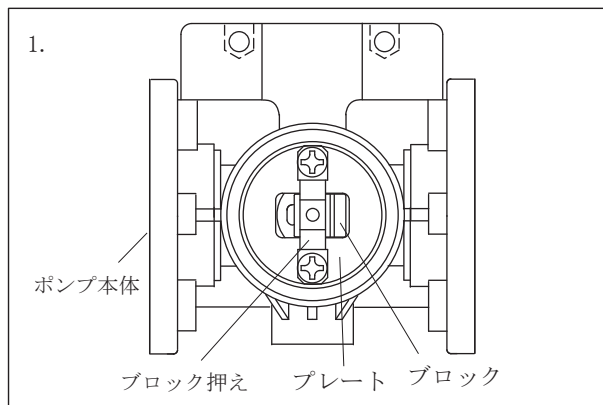
ポンプの分解と組立には、以下を参考にして行って下さい。尚、ポンプを分解する際は、供給エア配管を外すとともに、吸入、吐出側のホース、配管等も取り外して下さい。

1. 分解

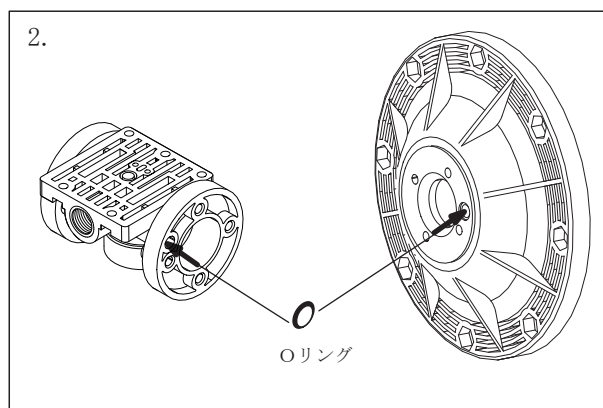


1. ポンプ本体内部の分解は、左右の袋ナットにスパナをかけ一方を固定して回し袋ナットを外します。
シャフトに固定された部品はシールワッシャ、外プレート、ダイヤフラムの順にとれて左図の様に開けます。この時、シャフトにパイプレンチ等はかけないで下さい。
尚、左右のダイヤフラムの向きは凹みがある方がポンプ本体側になります。
プレートは内、外とありますが、いずれもR面がダイヤフラムにあたります。

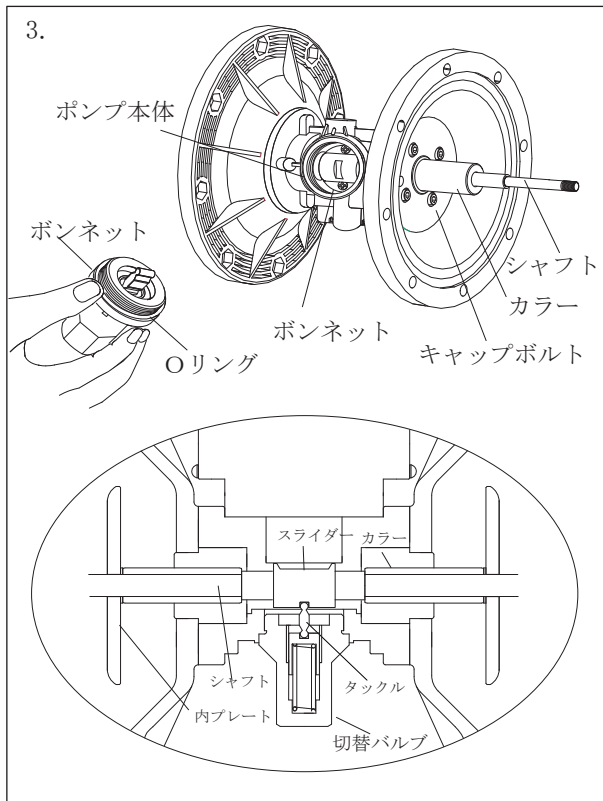
2. 組立



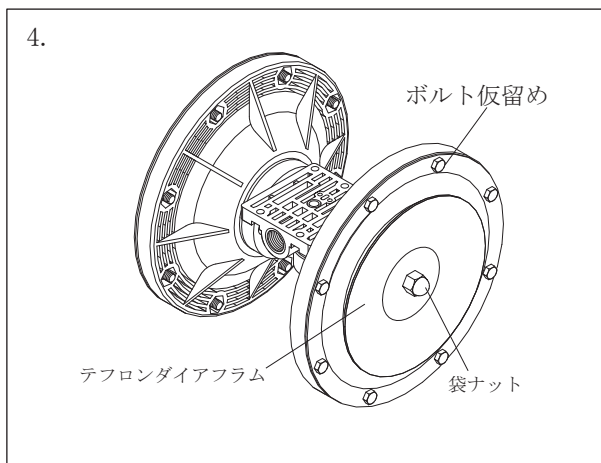
1. ポンプ本体の切替部は最初に、排気ガイドを底部に押し込み切替シートにプレーを重ね入れます。
プレートの中央部にブロックを据え、ブロック押えをナベ小ネジで止めます。
この際、ブロックがブロック押えの凸部を中心に左右小気味良く動くことを確認します。
(部品表 組図 切替バルブ組参照P-14)



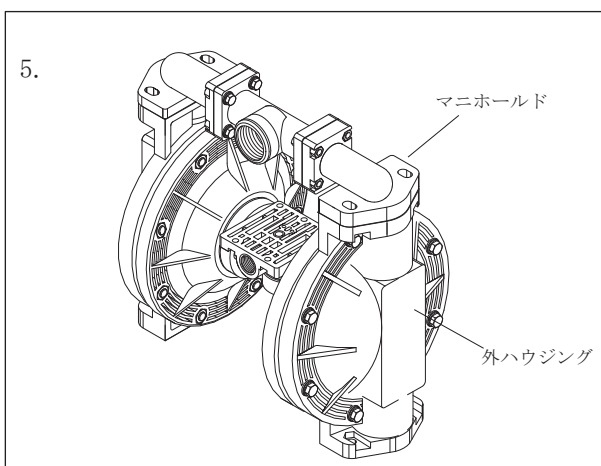
2. 左右のエアハウジングのエア通り口にOリング(P8)を入れたのを確認し、ポンプ本体と左右エアハウジングを止めます。



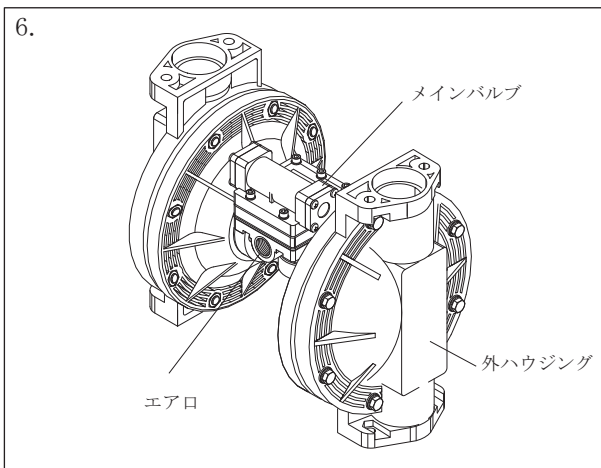
3. 本体中央のボンネット口からスライダを入れ、駆動部位のシャフト、カラーを差し通します。スライダのタックル溝をポンプ中央に移動させ、ボンネットガイドの溝に立たせたタックルを倒れないようにねじ入れます。シャフト両端に内プレートを入れ、左右に動かしタックルの収まりを確認します。(カチ、カチという切り替え音)



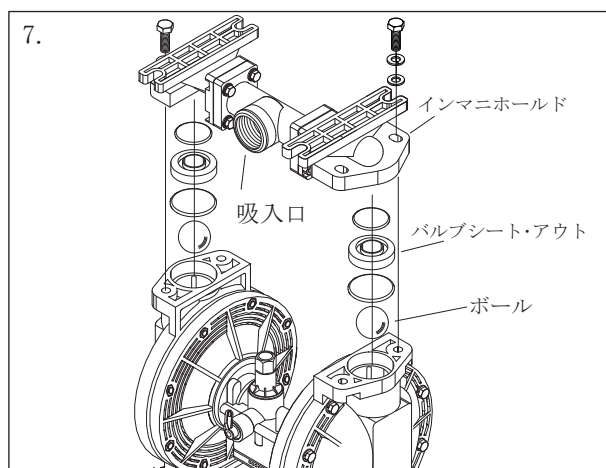
4. ダイアフラムを入れた後に、プレート(外)、ワッシャーを袋ナットで締め、固定します。テフロンダイアフラムの場合は、内部にシールリングを装着した後、テフロンとエアハウジングのボルト孔にボルトを通し、ダイアフラムの位置を固定させるように仮押さえを施してから、袋ナットを締めます。



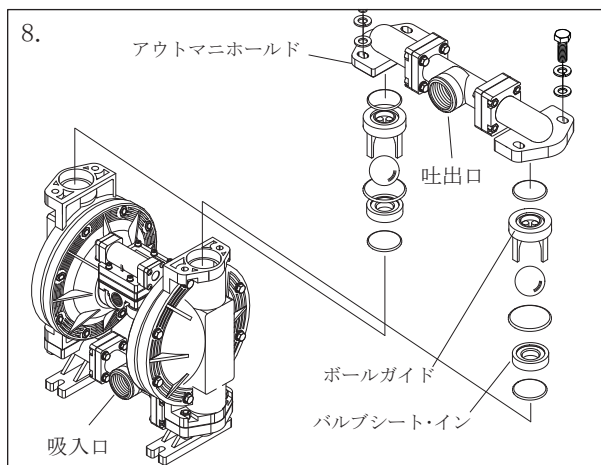
5. ダイアフラムの上に外ハウジングを重ね、ボルトは仮止めをします。左右の外ハウジングの平らを確認してから、本締めします。



6. 部品No.39 (P-13) の様にメインバルブを組み立て、ポンプ本体に取り付けます。
この時点でポンプにエアを入れ空運転を行い、エア漏れ 駆動音 ダイアフラムの反復音等に異常があるか無いかを確認します。



7. マニホールドはポンプ本体の吸入側を上にして吸込み側のインマニホールドから取付けます。左図の様に外ハウジング内部に吸入弁部品を順番に組み入れ、マニホールドでバルブシートの底部を押します。ボルトは四方均等にゆっくりと締めて下さい。



8. ポンプの向きを戻し、アウトマニホールドを取り付けます。
左図の様に吐出弁部品を組み入れ、マニホールドでバルブシートに立つボールガイドを押します。7. 同様にボルトは均一にゆっくりと締めて下さい。マニホールドの取付が終了したら、エアを入れ再度、空運転を行いエアの吸込み、吐き出しが正常かどうか確認して下さい。